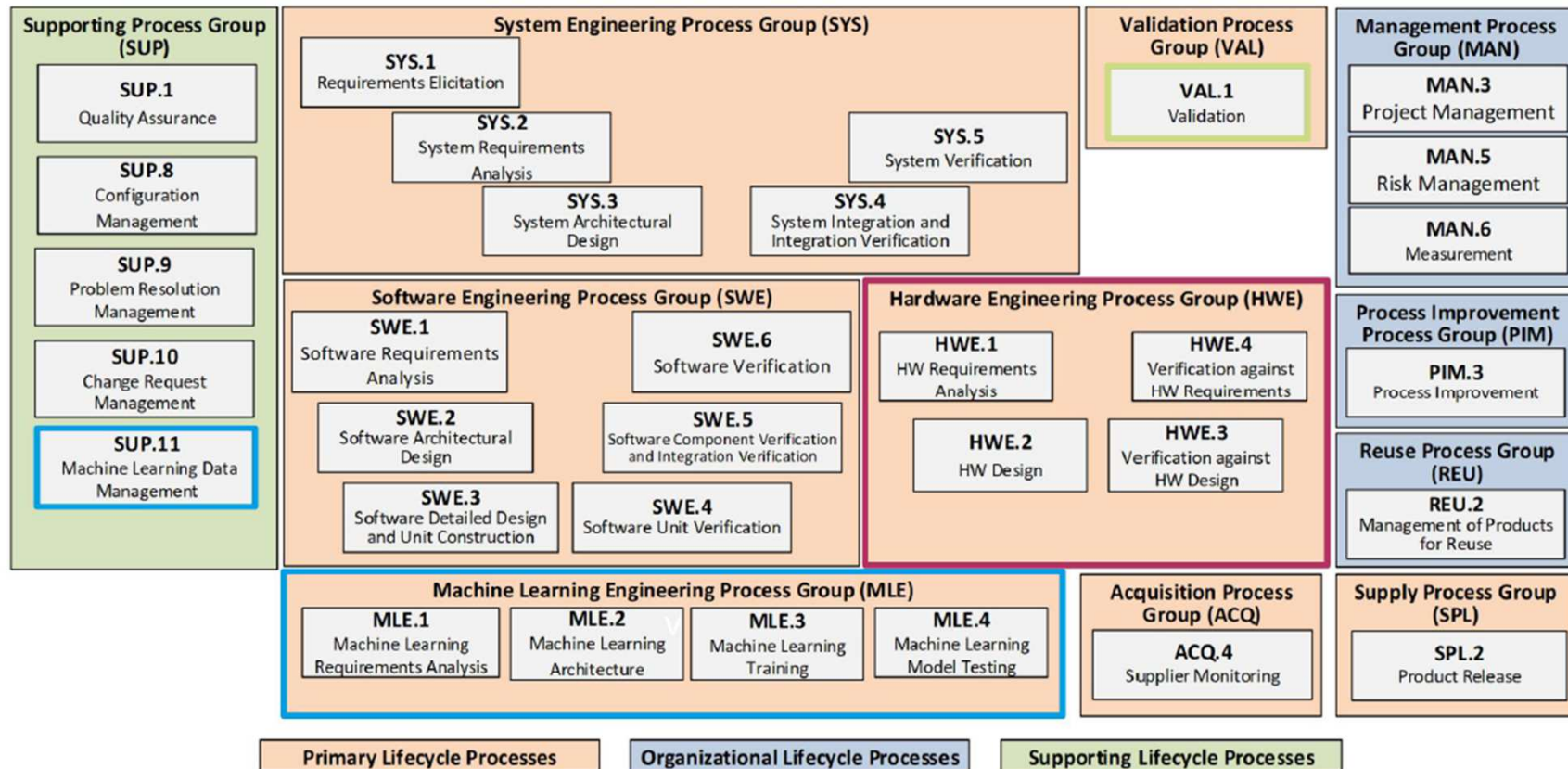


Automotive SPICE v4.0 ドラフトの概要

2023/08/23



プロセス参照モデル – v4.0 Draft



© VDA QMC

プロセスの構成

- 新たに、3つのプロセスグループが追加された。
 - ① 妥当性確認プロセスグループ
 - ② ハードウェアエンジニアリングプロセスグループ
 - ③ 機械学習エンジニアリングプロセスグループ
- 新たに、10個のプロセスが追加された。
 - 上記①、②、③に属する9個のプロセス
 - 支援プロセスグループの機械学習データマネジメントプロセス
- あまり使われない10個のプロセスが削除された。
SUP.2 / SUP.4 / sup.7 / SPL.1 / ACQ.3 / ACQ.11~15
- 指標の数が削減された。
 - VDAスコープ(v3.1)のBP 127個 → 97個
 - 能力レベル2のGP 11個 → 10個
 - 能力レベル3のGP 11個 → 8個

追加されたプロセスグループとは

① 妥当性確認プロセスグループ

提供される製品が意図された用途の期待を満たしているという証拠を提供するために実施するプロセス（1プロセス）

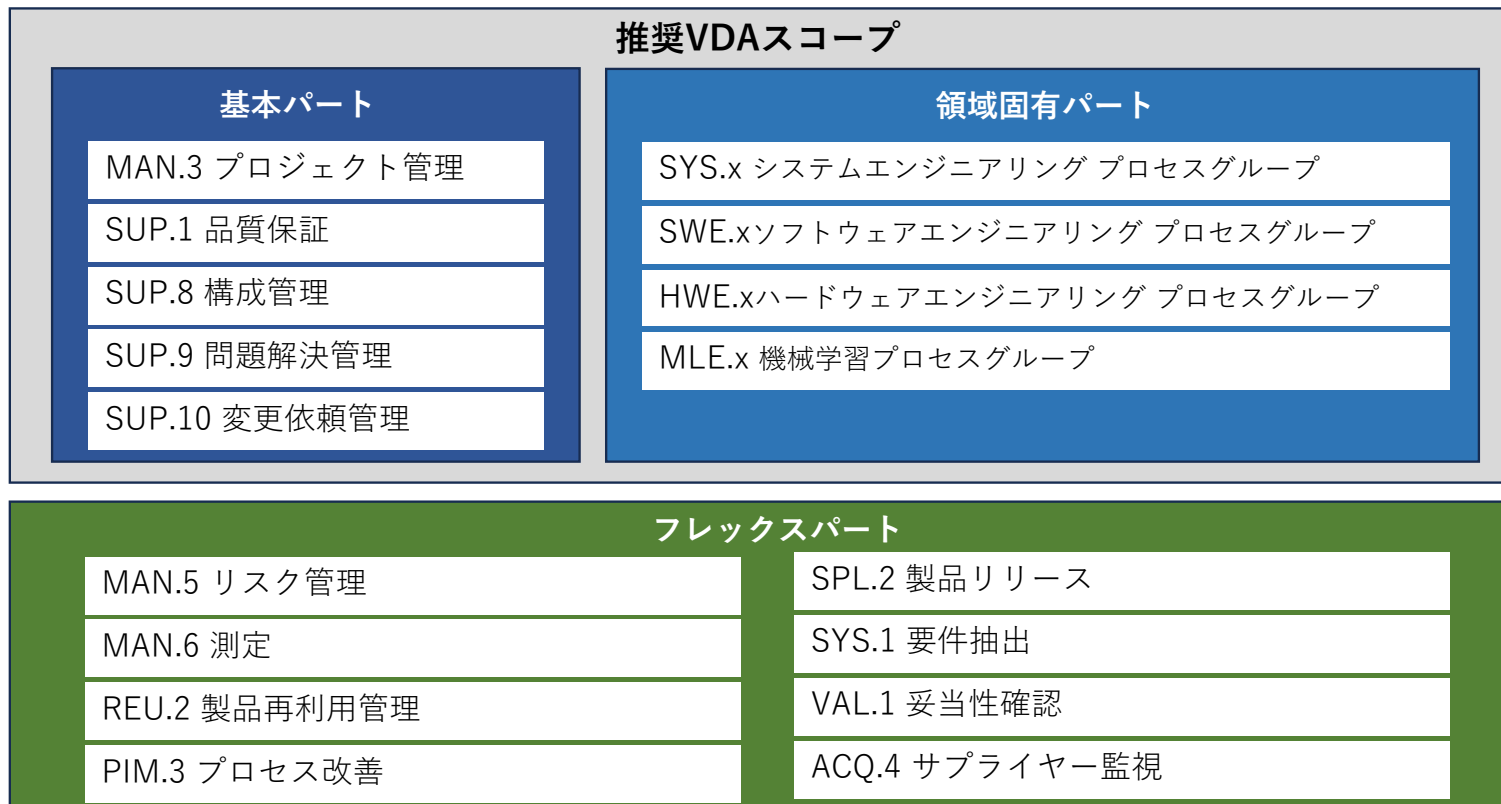
② ハードウェアエンジニアリングプロセスグループ

システム要件から派生するハードウェア要件の管理、対応するハードウェアアーキテクチャの開発、及びハードウェアの設計、検証のために実施するプロセス群

③ 機械学習エンジニアリングプロセスグループ

ソフトウェア要件から派生するML要件の管理、対応するMLアーキテクチャの開発、MLモデルのトレーニング、及びML要件に対するMLモデルのテストのために実施するプロセス群

推奨アセスメントスコープ – v4.0 Draft



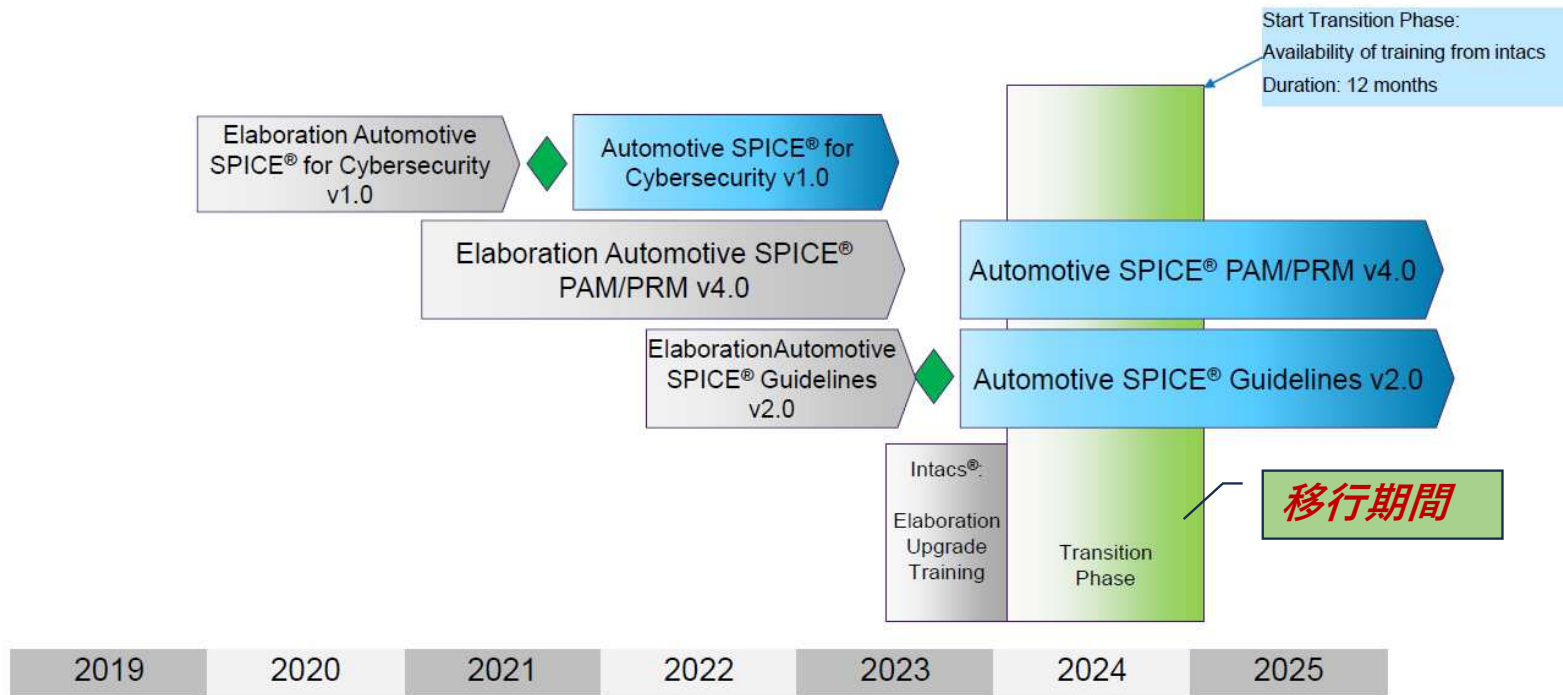
対象スコープの選定

- アセスメントスポンサー(依頼者)が、推奨されるVDAスコープに基づいて、対象スコープを定義し、確認する。
- “基本パート+一つの領域固有パート”が最小スコープになる。
- フレックスパートは、特定のプロジェクトコンテキストに基づいて適用される。

内容の見直し – v4.0 Draft

- プロセス内容の見直し
 - アーキテクチャ設計プロセス
 - ソフトウェア統合及び統合テスト
- プロセス属性の見直し
 - 「戦略」を能力レベル1から能力レベル2に移動
 - PA3.1とPA3.2の一貫性を向上
- 用語「作業成果物」を「情報アイテム」に変更
- 暗黙な要求、チェックリスト風の「備考」を見直し
- 「トレーサビリティの確立」と「一貫性の確保」のプラクティスを統合
- レベル2、3の共通リソースの定義を削除
- レベル2、3に、アウトプット情報アイテムを追加

V4.0への移行



アセッサのアップグレードトレーニングなど、2024年から1年間の間に提供される予定